

沖縄県県立具志川高等学校 令和5年度 国語科シラバス

科目名	単位数	学年	必修	備考
現代の国語	2	1	必修	2クラス3展開

1 科目の概要・学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。

2 成績・評価・観点の割合

(1) 知識及び技能 (40%) : 【評価方法：定期テスト、小テスト】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようとしている。

(2) 思考力、判断力、表現力等 (40%) : 【評価方法：定期テスト、課題、ワークシートの内容、授業ノト、授業態度等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。

(3) 学びに向かう力、人間性等 (20%) : 【評価方法：提出課題・授業態度(観察・発言)・定期考査後の誤答ノト等】

粘り強く各教材に取り組み、理解しようとしている。また授業内におけるペア・グループ学習などを通し、積極的に他者と意見を交換しながら学ぼうとしている。

3 ■使用教科書・△副教材

■大修館書店「現代の国語」△大修館書店「現代の国語 学習課題ノト」(準拠ノト)△いっぴい書店「現代文単語げんたん改訂版」△「プラム常用国語」

4 授業展開、形態・方法 2クラス3展開の習熟度別授業(各クラス27人程度)

学期	月	領域	扱う教材	時数	定期考査	常用国語試験範囲	評価方法
1	4	読む	考える技術	3	1学期末	演習編 第一編	【知識】 ・主に定期考査 ・单元ごとの小テスト ・週1回現代文単語テスト
	5	書く	意見を書く	5			
		話す	クラス弁論	1			
	6	読む	水の東西	7			
	7	的確に伝える	伝わるように話す	6			
2	9	書く	魅力的な紹介文を書く	7	2学期中間	演習編 第二編	【思考】 ・定期考査 ・ワークシート、ノト等課題 ・授業での態度・発言・発表 【主体的態度】 ・ペアやグループ学習における 主体的で協働的な態度の観察
		読む	動的平衡としての生物多様性	6			
	10	書く	状況に応じた通信文を書く	8	2学期末	演習編 第三編	
	11	読む	インターネット時代の音楽産業	8			
3	12	書く 話す	説得力のある資料を作る	7	学年末	演習編 第四編	・誤答ノト、授業ノト ・各種課題の提出率及び内容
	1	読む	白	5			
	2	話す	日経新聞「新聞を読もう」	7			

5 学習方法・学習のポイント

〔予習〕教材を予め読んでおき、要旨を捉える。わからなかった語や慣用句などを調べ、漢字の書き取りを行う。

〔復習〕副読本等を利用し読解問題を解き、授業内容を補完し、身につけた語彙や情報を定着するまで繰り返し、生活の中で活用していく。

6 その他

思考力・表現力を測る指標として、課題に「意見文(弁論原稿)」,夏課題に「読書感想文」を課す。また、主体的に学ぶ態度を測る指標として、実力・定期考査後には間違った箇所を復習し、学び直しと自己分析、目標設定を目的とした「誤答ノト」を課す。またスタディサプリによる課題配信や指示もあるので、Teamsの連絡等を確実に受け取ること。